

第5節 4日目：5月2日（土）：花巻～盛岡 晴れ

朝、5時半頃起床。本日は東横インで朝の昼食を頂いて臨む。4月30（木）、5月1日（金）共に、ダイヤと営業キロの関係で東横インでの昼食をパス。これまで東横インで半分位は恐らくパスしただろう。6時半からの食事なので、6時25分頃、1階の玄関ホールに行く。沢山の人が、朝食のために既にテーブルに座り待っていた。また、少し行列ができていた。いいタイミングで並ぶことができる。昨夜の腰の痛みは、殆ど消えていた。朝食はカレーが中心であった。朝食を済ませ、本日の作戦を練る。本日の歩くコース（営業キロ 35.3 km）は次の通り。

花巻→花巻空港→石鳥谷→日詰→紫波中央→古舘→矢幅→岩手飯岡→仙北町→盛岡

盛岡発7時55分の電車で花巻駅（8時32分着）を目指す。この電車は、3年前にいわて銀河鉄道（目時＝盛岡）を踏破した際、乗った車両で懐かしかった。始発はいわて沼宮内で終点は北上だった。花巻駅の構内の写真を色々撮り、花巻駅スタートは8時39分となる。8時49分、花巻神社前を通過。近くにツツジが見頃であった。9時6分、国4号線に出る。348歩ある瀬川橋を渡る。9時26分、高速道路下を通過。その先に宮沢賢治記念館の掲示板（5km先）があった。9時36分、左手に花巻観光物産館（金婚亭）があった。9時38分、青森237km、二戸109km、盛岡35kmの道路標識を目にする。そして、東京から501kmの地点も直ぐ行った先にあった。9時53分、石川啄木の句集前に到達。「やわらかに／柳あをめる北上の／岸縫目に見ゆ／泣けとごとくに」 10時丁度の気温は22℃であった。



盛岡駅で懐かしい“いわて銀河鉄道”車両に 花巻駅



10時8分、二戸市108km、盛岡市31kmの地点に達する。本日最初の踏破駅である花巻空

港駅前には色な飾りがあった。チューリップ、白鳥、・・・。本日最初の花巻空港駅には10時37分到着。上り列車がやって来る。予想外に駅舎が近代的でないのでビックリした。駅前には、「賢治ふれあい広場」の建管があった。



チューリップ



花巻空港駅

10時51分、国道4号線に戻る。11時8分、雨傘をさす。11時21分、前方を消防車（訓練用）が横切っていく。11時16分、名木“逆ひば”前を通過。この木は弘法大師縁のものであると説明。11時45分、石鳥谷南跨線橋を通過。11時56分、96歩ある葛丸（くずまる）橋を通過。その先の南部杜氏の里（道の駅：石鳥谷）で昼食（12時）とする。酒匠館“りんどう亭”でざるそばをいただく。食事後、家族に旅先の状況を知らせたいため絵葉書（イーハトーブはなまき）を購入。この店を出る際、石鳥谷駅の道筋を詳しく教えて頂く。国道4号線からは行けないとのことであった。そういう意味では、タイムリーな休憩であった。



五月晴れの中の鯉のぼり



酒匠館“りんどう亭”



石鳥谷駅への路 石鳥谷駅

12時52分、北向跨線歩道橋を渡り、鉄道の右側を歩く。その先に石鳥谷駅(12時58分)があった。暫く路地を歩く。13時31分、蛇と対面。恐れて逃げて行く。13時25分、紫波道踏切を横切り、国道4号線に出て(好地北)、鉄道の左側を歩く。13時40分、JR線を横切り、鉄道の右側を歩く。

13時41分、花巻市から紫波町に入る。14時10分、123歩ある滝名川橋を渡る。そして、山吹橋を渡る。この辺りで東京から514km地点であった。14時30分、左手に五郎沼の看板を目にする。東北新幹線線路が在来線に徐々に近づいて来る。14時35分、新幹線下を潜る。地名は紫波町南日詰であった。広々とした広場の中に日詰駅(14時50分)があった。



五郎沼 日詰駅



紫波中央駅 古館駅

15 時 2 分、新幹線下を潜る。暫く、涼しい新幹線下を歩く。少し引き返しとなるが、近代的な駅舎をもつ紫波中央駅には、15 時 33 分に到着。少し戻る格好になる。そして、道なりに歩いた先に、古館駅があった。この駅はもう少しで通り過ぎところであった。陸橋のようなものが、300m位先に見えたので、近づいたのがよかった。しかし、駅舎には中々行けず。前方を猫が上っている急な階段があった。近くにいる人に古館駅への行き方を問い合わせる。「階段を上って、トンネルのような階段を下りれば行けます」との回答を得る。古館駅には、やっとのことで 16 時 30 分到着。これまで踏破した中で一番粗末のような気がした。



矢幅駅

愛犬セブンのようなワンちゃん

暑さ対策し新幹線下を可能な限り歩く。16 時 54 分、道路にぶつかり、新幹線下歩きを止める。17 時 30 分、南矢巾踏切を横切り、鉄道の右側を歩く。その先に、矢幅駅 (17 時 40 分) があった。17 時 47 分、3 匹の愛犬セブンのような犬と対面。その後で、更にセブンと同じような犬と対面。飼い主をお願いして写真を撮らせて頂く。昨年 5 月に他界した愛犬セブンを思い出し、感無量の思いとなる。

18 時。日詰駅行バス(相鉄バスのようなグリーン系)と対面。ここから、岩手飯岡駅への路、苦勞する。18 時 21 分、新幹線、在来線下を潜り、JR 線の左側に出る。辺りも暗くなり、不安になったため、農家の人に岩手飯岡駅への道筋をお伺いする。「正しい道筋だが、飯岡駅は難しいよ。真っ直ぐ行き、交差点を左に進んで道なりに進めば OK。少し行った先で聞いてみてください」とのアドバイスを頂く。この路は、当初は鉄道と離れていると感じたが、鉄道のそれに沿って大きく左に曲がっていた。それ故、今歩いている道筋が正しいと確信。バイクに乗った方にも聞いてみる。「真っ直ぐ進んだ信号を右に曲がれば、踏切にぶつかる。その先を鉄道に沿って歩いた先に岩手飯岡駅があります」と親切に教えて頂く。この人は、更にバイクで戻り、「所要時間はここから 25 分位は要します」と教えて頂く。感謝感激。それで、不安なく、19 時 19 分、岩手飯岡駅に到着できる。



岩手飯岡駅 仙北町駅



腰の痛みに耐えながら昨夜ゴールの盛岡駅

そこから、腰の痛みがぶり返す。沢山の人に聞きながら、やっとのことで仙北町駅には20時42分到着。この駅の駅舎には開業100周年の看板があった。更にそこから2km先の盛岡駅を目指す。休みながら歩く。川を横切り、川に沿って歩く。青いネオンが見える。それは東横インであった。この2kmは遠し。何回も休みながら、水分を補給しながら歩く。ホテルの傍には、川があった。先程の川を再度渡る。この川が東横イン近くを流れている川とは。盛岡駅には21時45分到着。そして、ホテルには21時50分到着。暫く休憩して、コンビニに夕食を購入に行く。本日の営業キロは35.3km、万歩計は115,293歩となった。一瞬万歩計が壊れた(10万越え)かと思ったが、0クリアしてカウントされた。それにしても、本日は疲れた。

第6節 5日目：5月3日（日）：水沢＝前沢 晴れ

6時前に起床。朝、昨日と同様、ホテルロビーで食事を摂る。朝はチラシ寿司を中心とする食事であった。7時36分頃、チェックアウト。昨日と同じ電車（7時55分発）で北上駅まで移動し、そこから滝沢始発の一関行に乗り換える。階段が絡むホームの移動となる。北上発8時56分となる。水沢駅には9時12分の到着となる。



北上駅で乗り換え



水沢駅

不安なスタート！！

陸前折合駅に向けての歩きは、9時16分開始。腰が痛むかも知れない不安を抱きながら、9時23分、陸橋を越え、国道4号線（9時28分）に入る。9時23分、仙台111km、一関23km、平泉16kmの道路標識前を通過。9時46分、JR線を越え、鉄道の右側を歩く。9時50分、東京465km地点に到達。10時13分、水沢市真城という地点を通過。その先に奥州市立真城小学校があった。今では市町村合併により、水沢市ではなく奥州市であろう。10時21分、辺りは間もなく田植えを迎える水田が広がっていた。10時36分、カラフルな花が咲いた花壇前を通過。10時42分、少し早いですが、国道4号線を左折し、農道の踏切である大深沢踏切を横切り、鉄道の左側を歩く。暫く農道を歩く。500m位先に駅が見えるが、水田があり、駅舎に近づけず。農作業に行こうとしている、農家の方に陸前折合駅への行き方を問い合わせる。「100m位引き返した路に出て、左折して直進すれば、踏切にでます。その先を鉄道に沿って歩けば行けます」と丁寧に教えて頂く。11時11分、姉体踏切を横切り、鉄道の右側を歩く。



カラフルな花壇



姉体踏切



陸中折合駅

やっとのことで、11時20分、陸中折合駅に到着する。腰が痛みかける。それ故、駅から少し歩いた先の木陰で10分位休む。お腹は余りすかないが、休息もかね、「みちのく」で昼食（ざるそば）を摂る。店内には藤原まつりのポスターがあった。



みちのく



藤原まつりのポスター

12時50分、日本工業規格表に進まず。恰も亀のような足取りであった。この辺りで。とても当初予定だった平泉、一関には行けそうにない。何とか前沢駅まで歩き、アップしようとする。13時3分、168歩ある岩堰（いわぜき）橋を渡る。13時14分、前沢小学校の看板があった。腰が痛いため13時26分そして13時41分と50m～100m位歩くと小休止しながら、やっとのことで前沢駅（13時55分）到着する。非常に残念だが、この駅でアップする。



前沢小学校



前沢駅

前沢発 13 時 59 分のジパング(盛岡発 13 時 59 分：快速)で一関まで向かう。車両は特急のように豪勢であった。運賃は一関まで 240 円要する。前沢駅から一緒に乗った年配の女性に、本日は平泉の中尊寺で藤原まつり（源義経公の東下り行列）があるとのことを教えて頂く。中尊寺界限には沢山の観光客の姿を電車から確認できた。この隣の人は、平泉で降りる。そのあと、松山出身という 50 歳半ばの女性が乗って来る。連休を利用して、ご主人と一緒に平泉、仙台と観光のため来たとのことであった。本日は新幹線で仙台まで移動し、仙台で宿泊とのことであった。色々一関までの道中世間話をする。ジパングは山ノ目、終点の一関と停車する。一関駅には、14 時 18 分到着する。



ジパング（一関駅）

この駅で 30 分～40 分位休憩する。一関駅の待合室でアイスを購入。15 時少し前、駅から 5 分位のところのある、蔵ホテル一関に向かう。休息したので、少しではあるが、腰の痛みは軽減していた。ホテルには 15 時頃到着。部屋は 502 号室で、エレベーターから近かった。部屋には 15 時 8 分到着。朝食も込みで 8,424 円要する。部屋にはソファがあった。少し休息した後、ホテルにある湯船に浸かる。そして、サウナで汗を流す。風呂は暗証番号付で、CA1357 であった。この暗証番号が入浴に入る際必要であった。そして、1 階にある蔵大黒で冷奴、蕎麦をつまみに生ビールと八海山頂く。多少なりとも疲れが癒されたような気がする。そして、バタンキュー。本日の営業キロは、10.2 km、万歩計は 23,569 歩であった。本日は、途中ギブアップもあったが、洒落たホテルでゆっくりくつろげ思い出に残る一日となった。



初日蕎麦を頂いた一関駅 芭蕉辻



蔵ホテル一関

第7節 6日目：5月4日（月）：前沢～一関、塩釜～仙台 晴れ一時小雨

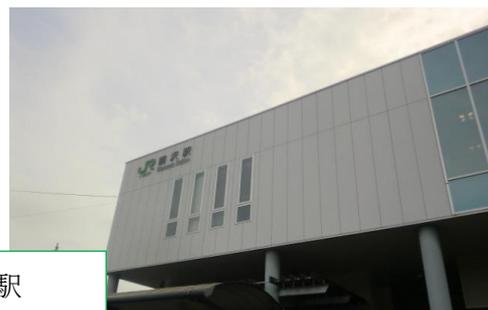
朝、4時半頃目が覚め、ホテル近くにあるローソン(一関大町店)まで、牛乳を購入に行く。ここ数十年、朝牛乳を飲む習慣が体調管理の一つに考えているからだ。それ故、今回のシリーズもこのことを励行している。それにしても、昨日は非常に辛いウォーキングであった。15年間のウォーキングで初めて体験した。自分を疑似体験に追い込むと、体の不自由な方の気持ちが痛いほど理解できた。“歩ける走れる”ことの素晴らしさを肌身で感じた。



蔵ホテル一関にて

ホテルに戻り、作戦を練る。荷物をコインロッカー（300円）に預け、先ず、前沢から平泉まで移動する。そして、一関から新幹線で仙台まで行き、ホテルに荷物を預け、小牛田～仙台のどこかを歩き、最終日の歩きを少しでも軽減させるプランを。ただし、歩けることが前提。昨日の休息で多分、このプランは実行できると確信。6時半、ホテル2階の部屋でバイキングを朝食として摂る。和食、洋食と豪華で恰も箱根のホテルにでもいるような錯覚をした。偶には、宿泊代は多少高くなるが、東横イン以外のホテルでも悪くないなあと・・・。

朝、何とか7時26分の電車に危機一髪で間に合う。隣の年配の方が、コインロッカーの鍵の件で困っていたので、サポートしていたので・・・。前沢駅には7時41分到着。日本のダイヤ区間は上手くできていると関心。一例として、青森＝八戸、八戸＝盛岡、盛岡＝一関、一関＝仙台・・・。私のウォーキングは、このダイヤの区間に応じて、歩くコースが必然的に選定される。



前沢駅



前沢南跨線橋

白鳥バス停

歩きは7時45分から開始。8時5分、国道4号線の塔ヶ崎交差点に到達。ここで、方向性を誤りそうになる。ロストしそうにボールペンがその危機を救ってくれる。このボールペン探しが幸運を招くとは。前沢南跨線橋で、鉄道を跨る場面が生じ、何となく反対方向に進んでいるような気がする。一時はロストした4色ボールペン（百円ショップで購入）を諦めていたが。2～3回、50m区間をピストン運動する。草村の中にあつた。ボールペン

は空色で地図を確認したのがよかった。これまでのウォーキングの中で、ボールペンをロストしたため、記録をメモできないこともあった。これ以来、予備の筆記用具は必ず持参するようになった。念ため、ガソリンスタンドの近くで車を止めていたドライバーの方に「平泉の方向」を聞く。予想通り間違っていた。20分位、ロストする。歩きを修正した結果、右手には東北自動車があった。安堵する。8時28分、沖田交差点を通過。8時30分、93歩ある白鳥橋（白鳥川）を渡る。8時37分、白鳥バス停（岩手交通）を通過。



平泉町入る



定期バス

8時42分、東北自動車道「平泉前沢」1kmの地点に到達。本日はここまでは曇り空で歩きやすし。8時52分、東京まで453km地点に到達する。8時58分、平泉町に入る。ここ数年、市町村合併が多々あり、懐かしい良き地名が消滅している。一例が徳山市である。今は周南市となっている。私の故郷三木町も市町村合併せずに頑張っている。平泉町と同じように。平泉は歴史の町のため、子々孫々までこの地名を堅持頂きたい。歩くと色々なことを考える。これが私のウォーキングの魅力かも知れない。平泉町に入った先で、非常に悩ましい地点に到達する。それは、このまま国道4号線を直進するか、それとも県道37号線に入るかである。誰にも聞くような通行人には対面せず。迷いに迷った結果、後者の道筋とする。結果、大正解であった。もし、前者の道筋を選択していれば、中尊寺や平泉駅に再度引き返す工程が伴った。昨日の休養がいい英断に繋がったと確信。



赤堂稲荷大明神

9時20分、定期バス停前に到達。中尊寺、平泉に行くバスが間もなくやって来る。バス停には親子連れの姿があった。9時25分、245歩ある衣川橋を渡る。その先に天台宗東北大本山“中尊寺”に繋がる赤い鳥居の赤堂稲荷大明神(9時36分)があった。駐車係の方に中尊寺の行き方を教えてもらう。「この大明神の階段を上って行けば、近道で中尊寺に行けます。500m位は本堂までありますが」と。急な階段を数百段位上った先に赤堂稲荷大明神の本堂(9時37分)があった。ここから道路までの高低は200m位ある感じであった。その先で中尊寺の通常の参道に合流する。参道には沢山の参拝客の姿があった。



弁慶堂



子安観世音菩薩



中尊寺本堂

本堂までの途中、弁慶堂、子安観世音菩薩、不動堂、峯薬師堂・・・があった。本堂を通り過ぎ、100m位引き返す。9時55分、中尊寺本堂前で記念写真を撮って頂く。この写真がこのシリーズ自分を写した唯一の写真であると同時に、本州踏破の記念写真としても価値ある1枚となった。10時5分、200m位の高台から平泉の風景を写真に収める。10時13分、中尊寺入口前に到達。その先に武蔵坊弁慶之墓(10時15分)があった。10時17分、中尊寺バス停前に到着。その先に200m位続く花壇があった。近くに“高館義経堂(250m先)”の標識があった。歴史が一杯の平泉駅には10時37分到着。数分駅前で滞在し種々の

アングルから記念写真を撮る。



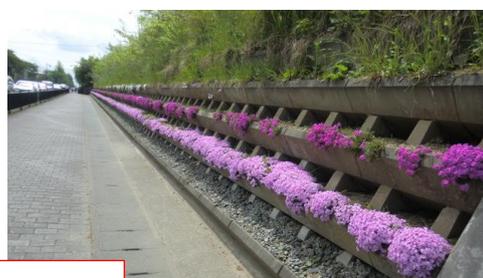
本堂入口



中尊寺からの眺め



中尊寺バス停



花壇の路



平泉駅からの眺め



平泉駅

10時44分、仙台94km、大崎54km、一関6kmの道路標識前を通過。10時46分、195歩ある太田川橋を渡る。11時4分、その先で本日2度目のボールペンを紛失しそうになりが、愛犬セブンのお守りにより救ってもらった。11時6分、国道4号線に合流する。平泉手前で誤って入れば、もし途中出口がなければ、ここまで来ることを余儀なくされた。ここから、平泉駅、中尊寺への立ち寄りを考えれば、2~3時間余計かかっていたらろう。平泉町佐野から一関駅まで6kmの表示があったからだ。11時26分、大佐バス停前を通過。11時35分、平泉町から一関市に入る。山ノ目駅には11時46分到着。駅前の店には木材で仕上げた熊等の作品があった。また、JAいわて平泉中里支店があった。12時27分、258歩あるかみの

橋（磐井川）を渡る。橋の欄干には「なのはな、おしどり、ばな」4の絵が描かれていた。
12時39分、昨夜泊まった蔵ホテル一関前を通過。その先に一関駅（12時43分）があった。



大佐バス停前



木材作成の熊等



山ノ目駅



かみの橋



一関駅

仙台行の新幹線（12時44分）が出たばかりのことで、1時間位待ち合わせ時間が生じる。次の新幹線は13時49分発であった。時間の節約と荷物の軽減から新幹線を選択した。運賃は特急券込で3,500円要する。腰が痛くなる恐れがあるため、コインロッカーに預けたバッグは、東横イン仙台に再度預け、歩こうと考える。待ち時間を利用して、駅の待ち合わせのコーナーにある立ち食いそば屋でとろろそばを頂く。そして、仙台からの歩きコースを色々考える。その結果、仙台から塩釜までの13.4kmを選定する。時刻表から仙台～塩釜までのアクセスを時刻表から調べる。2つのダイヤをメモに書き込む。新幹線は14時22分到着を考慮して。

- ① 仙台 14 時 46 分→塩釜 15 時 2 分
- ② 仙台 15 時 7 分→塩釜 15 時 24 分



やまびこ 48 号 (自由席) 一関駅 仙台駅 される。駅に下りるや速
 足で駅から徒歩 4 分先のホテルまで行き、チェックインの手続き (314 号室、5,702 円) と荷
 物を預ける。運よく①のダイヤに間に合う。運賃は 240 円要する。塩釜から仙台までのコ
 ース (13.4km) は次の通り。

塩釜→国府多賀城→陸前山王→岩切→東仙台→仙台



塩釜駅

塩釜駅までの車中、鉄道の道筋を観察する。その中の次の 2 点をメモする。東仙台駅と
 岩切駅の間川あり。陸前山王駅近郊に高速道路があり。塩釜駅には 15 時 6 分到着。15 時
 14 分、矢作ヶ館跡前を通過。そして、本日は祝日なので、日の丸の国旗を掲げている民家
 前を通過。そして、もう少しで、仙石線の多賀城駅に行きそうなところで、民家の人に聞
 いたのが大正解。「この坂を下って跨線橋を渡り、鉄道の沿って歩いた先に国府多賀城駅が
 あります」と。教えて頂いた通り、高崎跨線橋 (15 時 35 分) があった。15 時 38 分、小粒の
 雨をポツリ感じる。国府多賀城駅には 15 時 45 分到着。駅舎には多賀城を映し出した模型
 があった。16 時 3 分、赤い 114 歩ある砂押尾川を渡る。そして、山王という地名の交差点
 を曲がり道なりに沿って歩く。16 時 10 分、多賀城市立第二中学校前を通過。その先に陸前

山王駅があった。



高崎跨線橋

国府多賀城駅



砂押尾川を渡る

陸前山王駅

16時15分、史都多賀城前バス停を通過。16時35分、塩釜街道踏切を横切り、鉄道の左側となる。雨を感じて傘をさす。16時38分、傘閉じる。16時47分、新幹線下を潜る。16時52分、岩切駅に到着する。



塩釜街道踏切

岩切駅

再び傘をさす。17時2分、高架した道路にぶつかり、取りあえずその道路に上がる。運よくこの道路は、電車の窓から見た川を跨る橋に繋がっていた。17時2分、336歩ある岩切大橋（七北田川）を渡る。17時13分、宮城野区岩切陸橋前（サイコー岩切歩道橋）に到達。

17時18分、今市東交差点を通過。この辺りから東北新幹線が左手にあり。17時20分、4両編成の上り電車が通過して行く。17時37分、道路下のトンネル歩道を歩く。17時41分。8号線を歩く。東仙台2kmの表示を目にする、17時52分、ファミリーマートでアイス購入(194円)。18時10分、蒸し暑くなったので上着脱ぐ。18時16分、やっとのことで東仙台駅に到着する。



宮城野区岩切

東仙台駅

辺りは少し暗くなりかける。18時53分。仙台駅バス会社前通過。18時55分、仙山線踏切(新石巻感動踏切:単線)を通過。踏切を渡るや否や踏み切りきが下りる。1分位待機し、仙山線の電車を撮影する。東北本線と同じような車両であった。19時15分、確認のため仙台駅の道筋を通行人に問い合わせる。グッドタイミングであった。左折先を道なりに歩けば、仙台駅に行けるとのことであった。でも、夜の路分かりにくし。それ故、ここからも何にももの人に助けられ、仙台駅には19時40分到着する。



仙山線

仙台駅

ホテル(314号室)には20時3分到着。少し休息し、ホテル近くの五橋横丁に夕食に出かける。餃子等をつまみにした生ビール、焼酎、ハイボールは疲れた体を癒してくれた。夕食後、明日も早いのでファミリーマートで朝食のパンと牛乳を購入して、ホテルに戻る。夕食代と朝食代に約3,000円要する。本日の営業キロは、28.2km(前沢~一関:14.8km、塩釜~仙台:13.4km)、万歩計は68,549歩であった。多少、腰の痛みの不安から解消され安堵する。いよいよ明日が仕上げの場。約30kmあるので大変なウォーキングとなる。4時にモーニングコールセットし、23時頃就寝。